

成田空港周辺市町議会連絡協議会

住民生活の向上と空港周辺市町が共に発展していくために

5月22日、ANAクラウンプラザホテル成田において役員会と総会が開催されました。空港周辺に位置する4市5町の議会議員などが参加し、役員会では平成29年度決算や平成30年度予算の認定等、また、国や県等に対し「成田空港の成長が、住民生活環境の向上となり、そして、空港周辺市町が共に発展していくために、関係機関が一体となり、成田空港の更なる機能強化の実現に取り組まれること」を要望する決議を採択しました。

総会では国土交通省、千葉県、成田国際空港株式会社から講師を招き、それぞれ「航空行政の現状と要望について」、「成田空港周辺の地域振興について」、「成田国際空港の現状と取り組みについて」を演題とした講演が行われました。



千葉県町村議会議長会

3議員が自治功労表彰受賞

千葉県町村議会議長会より、特別自治功労表彰（議員在職18年以上）として土井清司議員が、自治功労表彰（議員在職11年以上）として菅澤昌則議員と土井秀敏議長が受賞し、6月5日、6月定例会の開会に先立ち伝達式を行いました。

永年にわたる議会活動を通じて、地方自治の振興発展に貢献したことにより表彰されたものです。



田子町議会議員来訪

魅力発信交流館、あじさい祭りを視察

6月9日、青森県田子町議会議長、総務・文教常任委員長、副委員長、委員、事務局長が来町され、多古町魅力発信交流館を視察しました。本町議会からは議長、総務厚生常任委員会が参加し、交流を深めました。

また10日には、あじさい祭り視察後、議場を見学しました。



芝山町議会・多古町議会連絡協議会

圏央道の早期完成をともに要望

6月20日、芝山町役場において芝山町議会・多古町議会連絡協議会の総会が開催されました。総会では、役員を選任や、平成29年度の事業報告、決算および監査報告、また平成30年度の研修等事業計画および予算について協議されました。

また、両町にかかる圏央道（大栄・横芝線）の早期完成が図られるよう、引き続き要望活動をしていくことで一致しました。



【小嶋 邦正さん】
大門在住、25歳。家族4人と従業員3人でヒラタケ、アワビタケを生産。30年以上続くきのご農業を父親から継ぎ、4年前から邦正さんが主体となって栽培にいそしんでいる。



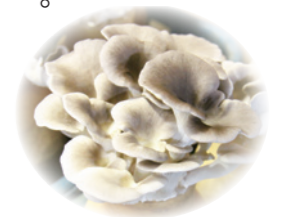
議会広報特別委員がインタビュー
わが町
フロントランナー
case 6

多古町にお住まいの「その道」をひた走る方々にお話しを伺ってみると、そこには新しいまちづくりや町を元気にするヒントが...!!

「終わらせるのは忍びない」

—町で2戸のヒラタケ農家を継ぐ

～きのこ生産者 小嶋 邦正 さん



ヒラタケとは別の香りを漂わせるアワビタケ

どうして農業を継ぐんですか？
中学生の時に就職活動をしたくないなと思って（笑）農業やろうかなと好きなことをやって、そのうち戻ってきてくれればいいと両親は言ってくれましたが、どうせやるなら早い方がいいと思ひ、農業を継ぎました。

他にやりたいことができたりはしませんでしたか？
学生時代に飲食店でアルバイトをしていたので、「こういうのもアリかな」とも思いましたが、きのこも嫌いではなかったし、人との付き合いとか、地元の方がいろいろとやりやすいかなと。

実際に仕事を始めて、大変だと感じたことは？
週休1日などところですかね。うちは施設栽培をしているため、きのこの栽培サイクルが確立しています。タネ植えから日数を逆算して作業をするんです。湿度や温度の管理はコンピュータによって自動で行っていますが、天候などによる微調整は人の手でなければならないので、きのこに合わせた生活になります。

やりがいを感じることは？
ヒラタケを生産しているのは多古でも2戸だけなんです。ほかにやっている人もいないし、終わらせてしまうの

は忍びない。つぶれないように、と思っています。

農業後継者として町に望む支援は？
新規就農者だけでなく、後継者を支援してくれるような助成があると思います。

今後目指す農業経営は？
新しい技術を取り入れるよりは規模を拡大したいですが、それよりもまず、古くなってきた設備の更新をしていきたいです。

～interviewer's eye～

昨今、農業を取り巻く環境は厳しく、後継者不足、また労働者も研修生に頼らざるを得ないといった問題がある状況です。葉物野菜は農業とは関係のない企業がビルの中で生産をし、コメにおいても銀行が水田をまとめて借り受け、会社を設立し、生産をしています。どんどん農家が減少していく中、実家の仕事を継ぎ、頑張っているのは素晴らしい事です。田畑は自然の環境により収穫量、収益が大きく変わりますが、施設栽培は収穫量収益が安定している事、祖父母が邦正さんを変更可愛がっていた事が地元に残り、後継者として頑張る決意をさせたのかなと思います。これから若い力が地元で活躍してくれることを期待します。ただひとつ、こうした後継者が支援を受けられないというのは腑に落ちません。（菅澤 昌則 委員）